



教育目標：感謝の心を大切に、自ら学び行動する人間性豊かな児童の育成
～『あい』を深め、刻む山代西～

「いのち」を大切にするには



先日、県内の中学生が川遊びの最中に深みにはまり、命をなくすという事故が報道されました。『指導不足』『過信』『不注意』『経験不足』・・・様々な原因が取りざたされています。たった一つしかない命を大切にするためにどうすればよいかを普段から考え、心に留めておくことは大切なことだと思います。本校でも全校朝会や山びこ広場で次のような話や指導をしました。

全校朝会(6/23)

校長講話では、「いのちが失われることで『やりたいと思っていたことができなくなる』『周りの人たちが悲しむ』『亡くなった人との関わりを永遠に持つことができなくなる』こと、いのちを感じる(生まれてくる)ことで『よろこび』『やさしさ』『前向きな態度』をもつことができる。だから命があるということは素晴らしいことだ。みなさんも見命がなぜ大切だといわれているかを考えてほしい」と伝えました。本校の職員の中に妊娠されている教師がいて、今の気持ちなどを話してもらいました。最後に今回の「校長ミッション」では「命を大切にするために何をすればいいか」を全校児童に考えてもらいました。ご家庭でもいのちについて機会があれば話しあわせてみてください。



校長ミッション④

いのちを大切にするためには何をすればいいか かんがえよう。

山びこ広場(6/11)

本校では毎年、児童の健康教育の一環として『山びこ広場』を実施しています。第1回目は「自分の命は自分で守るために」ということで、養護教諭から「熱中症対策」、保体部の教師から「水難防止」「落雷から身を守る」といった内容で話がありました。本校も校区内に海や多くのため池や堤があります。「子ども達だけで川、海、堤等へは行かない」「熱中症予防に努める」「いざという時の対応は」を指導しています。家庭でもお子さんと一緒に話をしてみてください。



「ふるさと学習」で山代をもっと好きに

地域の方々をゲストティーチャーとして山代のことを詳しくし、地域を愛する心情を育てる学習『ふるさと学習』を今年度も行っていきます。今月は次のような学習がありました。



梅の実ちぎり(6/1)

立岩のBlueberry farmの代表の川浪様の梅林で梅ちぎり体験を1、2年生が行いました。大きく実った青い梅の実を両手いっぱい抱えながら収穫していました。高い所は木に登って採る児童もいてたくましく思えました。帰りにはミツバチの養蜂用巣箱も見せてもらい、蜂蜜のでき方に驚いていました。収穫した梅は、学校で漬けて梅シロップにしたり、煮て梅ジャムにしたりしました。



ホタルの話(6/12)

3、4年生が向山区長の松永孝三さんから『ホタルの話』を聞きました。佐代川には5月末から6月初めにかけて、多くのホタルが飛んでいました。見に行った児童もいました。「ホタルの種類」「ホタルが光る理由」「ホタルの一生」など、児童も熱心に聞き、山代西のすばらしさをより一層感じたようでした。ありがとうございました。来年度はぜひご家族で。



学習の様子



歯磨き指導(6/4)

6/4の「虫歯予防デー」にちなみ、本校でも養護教諭による歯磨き指導がありました。歯磨きの大切さや普段磨いているつもりでも歯の隙間や裏、奥歯など、磨き残しもあることを、改めて知ることができました。今年度も学校では、希望者による『フッ化物洗口』を行っていきます。



災害時引き渡し訓練(6/5)

この時期、雨風を伴う天候が頻繁にみられるようになってきます。本校区は過去に地滑りによる災害に見舞われた地区です。それらを踏まえ、児童の下校時に危険が伴うような有事の際を想定し、『引き渡し』による避難訓練を実施しました。児童玄関まで車両を乗り入れてもらい、引き渡しカードを活用して児童を保護者へ直接、お渡しをしました。保護者の協力もあり、今回の訓練はスムーズに行うことができました。もしもの場合に『落ち着いて、安全に』行動ができるよう様々な訓練を繰り返し行いながら児童の大切な命を守っていきたいと思います。

全校での学校かくれんぼ

全校児童みんなで楽しむことを目的とした『刻プロジェクト』として「学校かくれんぼ」を6/10に実施しました。5、6年生が中心となり、計画進行を行いました。隠れ場所も工夫を凝らし、見つかるかもしれない緊張感を味わいながら活動していました。「またやりたい」という児童も多く、思い出に残るイベントとなりました。

